

平成29年度予算見積調書

課室名：財務課
 担当名：施設整備担当
 内線：6651

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B74	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業		一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校施設費	県立特別支援学校教室不足対策費	
事業期間	平成26年度～平成32年度	根拠法令	学校教育法第72・76・80法		挑戦項目	06	次代を担う人財育成	
					分野施策	030625	様々な課題を抱える子供たちへの支援	
1 事業概要			5 事業説明					
インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実を図るため教育環境を整備する。また、特別支援学校に在籍する児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な支援体制と特別支援学校の児童生徒増に対応するため教室環境等の整備充実を図る。 (1) 県南部地域特別支援学校(仮称)の設置 51,399千円								
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円			(1) 事業内容 ア 県南部地域特別支援学校(仮称)の設置 51,399千円 (ア) 建設概要 ・建設地：県立戸田翔陽高校敷地内 ・建設規模：200人程度、30学級程度 (イ) 建設コンセプト ・環境・省エネに配慮した校舎：目標耐用年数100年、太陽光発電設備、内装の木質化 (ウ) 平成29年度の事業内容 ・基本設計 (2) 事業計画 ア 県南部地域特別支援学校(仮称)の設置 インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実、さらには県南部地域の児童生徒増への対応を図るため、平成33年4月の開校を目指し、戸田翔陽高校の敷地内に知的障害特別支援学校(高等部)を設置する。 (3) 事業効果 障害のある子供にとっての「多様な学びの場」や「障害のある子供とない子供が共に学ぶ場」を整備することで、インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実を図ることができる。 また、今後の児童生徒の増加に対応するとともに、特別支援学校に在籍する全ての児童生徒の自立と社会参加を促進することができる。					
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	51,399						51,399	51,399
前年額	0						0	